



第36回インターウニ・ゼミナール（ドイツ語ドイツ文化ゼミナール）

36. interuniversitäres Juniorenseminar für deutsche und japanische Kultur

参加者募集のお知らせ

日時：2017年3月7日（火）～11日（土）

場所：国際医療福祉大学・那須セミナーハウス（栃木県那須塩原市金沢）

参加費：32,000円（4泊5日宿泊・食事代ほか。交通費は含みません。）

☆ 東京都内（池袋駅）から往復のチャーターバス（片道2500円）を用意します

募集人数：60名程度（ドイツ語を学ぶ学生・院生、ドイツ語学習歴のある社会人）

講師（予定）：足立信彦（東京大）、相澤啓一（筑波大）、秋野有紀（獨協大）、Christoph Hendricks（東京外語大）、柿沼義孝（獨協大）、鎌倉澄（学習院大）、村元麻衣（名古屋大）、Matthias Pfeifer（静岡県立大）、境一三（慶應大）、高橋優（福島大）他

アシスタント：原田 公夫、井口 祐介

ゲスト教授：Reinhard Zöllner（日本学、ボン大学）、Uwe Czarnetzki（プラズマ研究、ポーフム大学）他

申込み締め切り：2017年2月26日（日）（なお、それ以前でも応募者が定員を満たした段階でキャンセル待ちとなりますが、締め切り後でも空きがあれば受け付けますので、お問い合わせ下さい。最新情報はHPから確認してください。）



参加申込みは次のサイトから（「インターウニ」で検索！）：

<http://www.interuni.jp/anmeldung>

主催：インターウニ・ゼミナール実行委員会（代表：相澤 啓一）

ホームページ：<http://www.interuni.jp/> お問い合わせ：<http://www.interuni.jp/kontakt>共催：筑波大学（TEACH = 日独韓共同修士学位プログラム <http://trans.hass.tsukuba.ac.jp/teach/ja/>）

協力：Goethe-Institut Tokyo（ドイツ文化センター）、Deutscher Akademischer Austauschdienst（ドイツ学術交流会）

	3月7日 (Di)	3月8日 (Mi)	3月9日 (Do)	3月10日 (Fr)	3月11日 (Sa)
8:00		Frühstück		起床・朝食	
9:00	Abfahrt von Tokio mit Interuni-Bus	授業 2 Gruppenunterricht	授業 4 Gruppenunterricht	Studentischer Tag (Gruppenarbeit)	Gruppenpräsentation 各グループのプレゼン Evaluation
10:00	池袋出発				
12:00	↓	Mittagessen + Pause		昼食	12.30 Abreise
13:00	Anreise 到着	13.00-14.00 Spiele	Freier Nachmittag (13.00-15.00)	13.00-16.00 Studentischer Tag (Gruppenarbeit)	Rückfahrt 現地出発
14:00	Einführung 導入 Gruppeneinteilung グループ分け	14.15-17.15 授業 3 Gruppenunterricht	15.00-18.00 授業 5 Gruppenunterricht	16.15-18.00 Vortrag (Czarnetzki)	Ankunft in Ikebukuro 16:30~17:00 池袋着（予定）
18:00		Brainstorming			
19:00		Abendessen 夕食		パーティ準備	
19:00	19.00-21.00 授業 1 Gruppenunterricht	Koreanischer Abend mit anschließender Diskussion	19.00-20.30 Vortrag (Zöllner) Gruppenbildung zur Präsentation	Schlussfeier パーティ	Änderungen Vorbehalten!
21:00		Kneipe / Nachtruhe / 就寝 ? !			

インターウニ・ゼミナールは、せっかく習ったドイツ語をもっと学びたいと思い、またドイツ語圏の地域や日独文化交流に関心を持つ学生たちが、全国から、そしてドイツや韓国からも集まって議論する合宿ゼミです。いろいろな学生・教員がさまざまな大学から集まって（*interuniversitär*）、一つのテーマについて日独の文化を比較・対照しながら（*interkulturell*）、専門の枠を超えて（*interdisziplinär*）、国籍や文化、性差や世代や（例えば教師と学生といった）立場の違いを超えて互いに学びあう（*Inter-Lernen*）というゼミです。ゼミではできる範囲で、なるべくドイツ語を使って議論してみましょう。ドイツ語を習い始めたばかりの大学1・2年生にとっては、実際にドイツ語を口に出して会話にトライしてみる絶好の機会です。もっとドイツ語ができる人は、テーマをめぐって自由に議論してください。ドイツ語能力別の少人数クラスが編成されますので、自分にぴったりの居場所が見つかります！アクチュアルなテーマとドイツ語学習を欲張りに組み合わせるインターウニに参加して、全国各地の大学から来る新たな友人や日独の教員、さらにはドイツや韓国から来る学生たちと、ドイツ語漬けの充実した5日間を過ごしてみませんか？

今回のテーマ：

異文化の「魅力」、他者への不安 Fremde Kultur - faszinierend oder beängstigend?

異文化は、あるときはとても魅力的です。明治維新以来、多くの日本人は西洋文化という異文化に憧れて政治システムや文学や音楽を受容し、また戦後は多くのアメリカのポップカルチャーを自分のものにしてきました。でも異文化はときに、得体の知れない、不安をかきたてるものとなって、差別や迫害の対象にすらなります。言語や文化や民族の違いは、しばしば戦争の根拠にされます。こうした違いはいったいどこから来るのでしょうか？

異文化との接し方について、特定の集団やマイノリティを差別してはいけない、と私たちはよく習ってきました。これまで積み重ねられてきたこうした「正しい (political correct な)」態度は、しかし今や、世界のあちこちで空洞化され、嘲笑され始めています。西欧民主主義を担ってきた基本理念が、トランプ現象を始めとする出来事を通して大きく揺らぎ始め、「よそ者」を排除したいとか隣国を嘲笑したいとかいった「本音」が、再び公然と大声で（とりわけネットの中では無節操に）語られるようになってきています。

たしかにテロの問題が深刻化し、際限ない難民流入問題がヨーロッパ社会の世論を大きく変えた今、ナイーブに「異文化理解」の大切さを語ってもあまり説得力はありません。さらに、そうした現象に顔をしかめる私たち自身も、もしかするとこうして「異文化」などと口にしたとたんに、例えば平気で「外人」と言っていた頃と同じように、無意識のうちに関心の文化を自分とは違うものとして差別しているのかもしれない。

今回のインターウニでは、そうした「異文化」について、私たち自身がどんな風に接しているのか、考えてみたいと思います。ドイツ語という外国語を学ぶ皆さんであればきっと、異言語を通じて異文化を知りたいという関心を強くお持ちのことでしょう。それはどうすれば楽しく有意義な形で続けていけるでしょう？ そうしたテーマを中心に、習い始めたドイツ語をできる限り使いながら、ドイツや韓国や日本の他大学から来た多様な参加者たちと話してみましよう。

せっかく習い始めたドイツ語、いちど実際に合宿ゼミで使ってみませんか？

インターウニは、初級からのドイツ語をレベル別少人数グループで学び、また議論を通して実際に使いながら、「全国各地からの新しい仲間たちと楽しく集中的にドイツ語を学ぶ」とことと「大学生らしく批判的知性を磨く」とことという2つの目標を常に追いつける欲張りな合宿ゼミナーです。

今回は韓国からのゲストに加えて、ゲスト講演者として、ボン大学の Reinhard Zöllner 教授と、ボーフム大学の Uwe Czarnetzki 教授のお二人をお招きする予定です。日本をよく知るこのお二人には、テーマに関連して講演していただきます（日本語通訳も付きます）。宮崎駿についても詳しいツェルナーさんには、日本にとっての異文化の意味について、またツアルネツキーさんには、最先端のプラズマ研究者として、これまでの日本人研究者との研究交流や、留学経験を積むことの大切さと魅力について語っていただく予定です。

インターウニにはドイツ語圏から来日中の学生や韓国からのゲストも参加します。せっかく苦労して習ったドイツ語です。ぜひいちど実際に試しに使ってみましょう。意外に使えちゃったりして.....(^_^;) グループで議論したりドイツ語のプレゼンを作ったりしながら、新しく知り合う仲間たちと真剣に語り合ってみましょう。講師たちも皆さんとの議論を楽しみにしています！

2016年12月

- ◎ ホームページから申し込みをすると、登録アドレス宛に実行委員会から受付確認メールが送られますので、それに従って参加費とバス代の合計金額を、所定の口座に振り込んでください（詳細は受付確認メールにてお知らせします）。
- ◎ 開催場所は交通の便が悪く、自家用車の利用は原則として禁止していますので、東京都内から研修所まで貸切バスを往復でチャーターします。3月7日の往路は午前10時に東京のJR池袋駅発、11日の帰路は夕方5時頃に池袋駅着の予定です（到着時間は大きく前後する可能性があります）。途中、JR利用者のために、それぞれ東北本線・西那須野駅に立ち寄ります。バス料金は、東京から研修所までが片道2500円、西那須野駅から研修所までの利用は片道500円です。（11日の復路も同額です。）なお、バスは今回も、10年以上お願いしてきている東京シティ観光（株）に依頼しています。
- ◎ 授業は、ドイツ語の語学カ別に編成する10名程度の小グループで行います。
- ◎ 申し込み後のキャンセルや部分参加申請は3月3日まで受け付けます。それ以降は実費分を差し引いた返金額となります。
- ◎ そもそもインターウニとは何なのか？ また、以前のゼミナールの様子やテーマ等については、インターウニのホームページ <http://www.interuni.jp/> に詳しく掲載してありますので、ぜひご覧ください。
- ◎ ゼミに関するお問い合わせや、Web上での申し込みの問題が生じた場合などは、実行委員会までお問い合わせください。
<http://www.interuni.jp/kontakt> （インターウニ・ゼミナール実行委員会宛のフォーム）

インターウニ・ゼミナール実行委員会（代表：相澤 啓一）